

2012年3月期 第2四半期決算説明資料

C r e a t i v i t y

I n n o v a t i o n

S o l u t i o n

2011年10月14日

		【中古遊技機売買仲介事業】	
P2	・第2四半期 損益計算書（連結）	P11	・第2四半期 損益計算書
P3	・事業の種類別セグメント	P12	・第2四半期 取扱台数・手数料単価の推移
	【広告事業】	【不動産事業】	
P5	・第2四半期 損益計算書	P14	・第2四半期 損益計算書
P6	・四半期売上高の推移		
P7	・品目別売上高の推移	P15	・第2四半期 連結貸借対照表
P8	・顧客の状況	P16	・第2四半期 連結キャッシュフロー計算書
P9	・従業員の状況	P17	・2012年3月期 通期連結業績予想と進捗状況について
		P18	・イベント広告宣伝規制の概要

第2四半期 損益計算書(連結)



(単位:百万円)

	2Q累計期間	構成比	前年2Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	7,854	100.0%	10,001	100.0%	78.5%
営業利益	663	8.4%	975	9.7%	68.0%
経常利益	666	8.5%	983	9.8%	67.7%
純利益	491	6.3%	538	5.4%	91.3%

- ◆パチンコホール業界では、震災に伴う個人消費低迷の影響を受け、依然として厳しい状況が続いております。また、震災後の当面の全台入替自粛や広告活動自粛、夏場の電力需要を鑑みた業界を挙げての輪番休業の取組み、さらには、本年8月以降、イベント広告宣伝規制が各都道府県単位で相次いで強化された影響により、これまでの広告戦略の刷新が求められる等、ホール企業の経営環境は大きく変化しました。
- ◆こうした環境下、当社グループでは、主力の広告事業において、震災の影響が少なかった中部以西エリアにて人的資源を適切に配分し、営業活動を強化しましたが、東日本のホール企業を中心に広告自粛、イベント規制の影響が大きく、広告需要の消失を穴埋めするには至りませんでした。また、中古遊技機売買仲介事業においては、震災に伴う全台販売延期や入替自粛等により、取引が停滞しました。
- ◆結果、当第2四半期の売上高は**7,854百万円(前年同期比▲21.5%減)**、四半期純利益は**491百万円(同▲8.7%減)**となりました。

事業の種類別セグメント



当第2四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	広告事業 ゲンダイエージェンシー(株) (株)ジュリアジャパン	中古遊技機売買仲介事業 (株)バリュー・クエスト	不動産事業 (株)ランドサポート	調整額	連結
売上高	7,548	215	89	-	7,854
セグメント利益	847	▲30	38	▲191	663

前年同期比

(単位: 百万円)

	広告事業 ゲンダイエージェンシー(株) (株)ジュリアジャパン	中古遊技機売買仲介事業 (株)バリュー・クエスト	不動産事業 (株)ランドサポート	調整額	連結
売上高	▲2,034	▲122	+7	-	▲2,147
セグメント利益	▲497	+114	▲0	+72	▲312

- ◆連結売上高は、主力の広告事業において、震災に伴う広告活動自粛、イベント規制等による広告需要の減少や、中古遊技機売買仲介事業も新台販売延期や入替自粛の影響を受け、共に厳しい環境となり、売上高では▲2,147百万円の減収となりました。
また、セグメント利益も▲312百万円の減益となりました。

広告事業

ゲンダイエージェンシー株式会社
株式会社ジュリアジャパン

第2四半期 損益計算書(広告事業)



(単位:百万円)

広告事業	2Q累計期間	前年2Q累計期間	前年同期比
売上高	7,548	9,582	78.8%
営業費用	6,701	8,238	81.3%
セグメント利益	847	1,344	63.0%

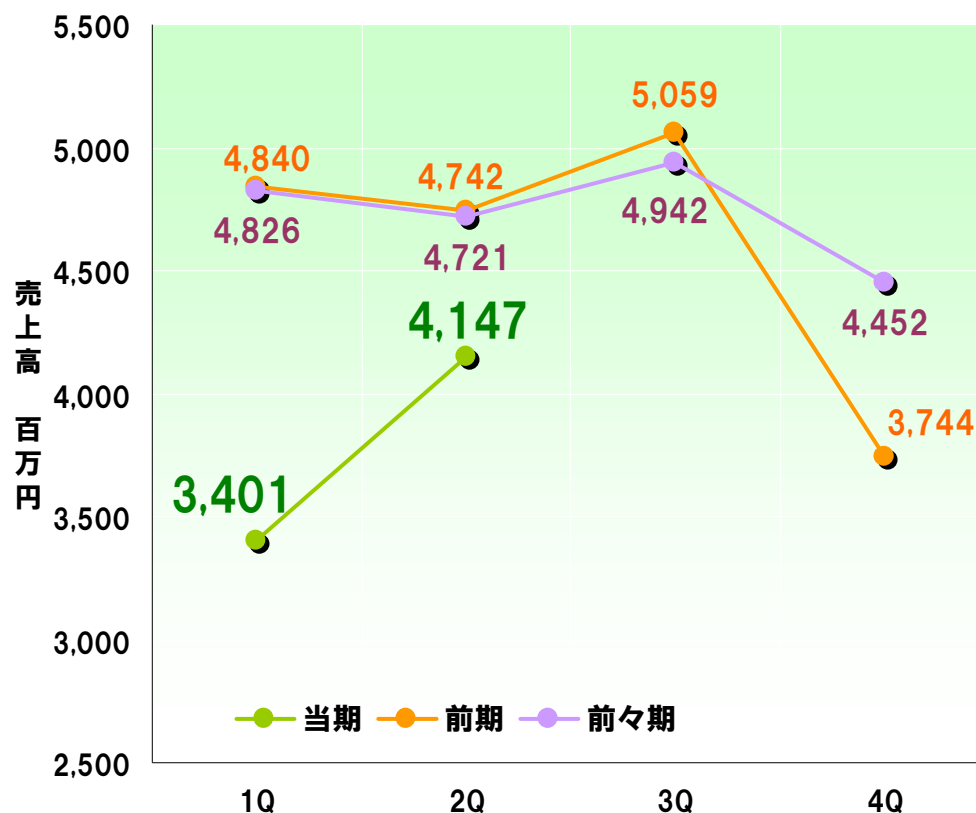
- ◆パチンコホール広告市場は、震災発生後のパチンコホール業界における当面の広告活動自粛及びイベント規制の影響により、広告需要は減少しました。
- ◆広告事業における施策
 - ・震災の影響で業務停止を余儀なくされていた仙台営業所及び郡山営業所の早期回復をはかり、本年5月2日より業務を再開し、クライアントの復興を支援
 - ・イベント規制の影響が大きいエリアを中心として広告戦略刷新の提案をスピーディーに展開する等、営業活動を強化し取引店舗数の増加に努めた
 - ・モバイル、ウェブといったプル型のメディアを利用した告知に注目し、パチンコホールモバイル告知ツール「Mobavia」をはじめとしたモバイル・ウェブサービスの拡充と拡販を積極的に推進
- ◆しかしながら、震災及びイベント規制に伴う広告需要の急減の影響を埋め合わせるまでには至らず、売上高は7,548百万円(前年同期比▲21.2%減)、また、売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益は847百万円(同▲37.0%減)となりました。

四半期売上高の推移(広告事業)



(単位:百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	3,401	4,147	—	—	
前期	4,840	4,742	5,059	3,744	18,386
前々期	4,826	4,721	4,942	4,452	18,942



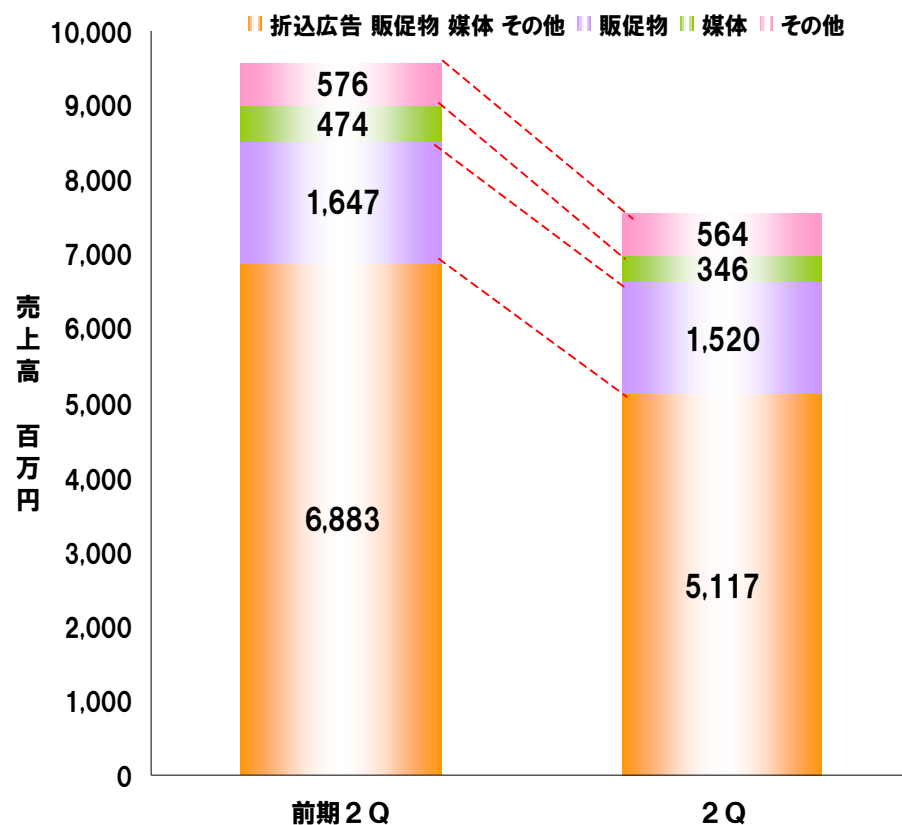
◆ 2Qにおいては、1Qに比べ、震災に伴う広告自粛等の影響も小さくなっているものの、8月より実施されたイベント広告宣伝規制の影響もあり、前年同期比では減少しております。

品目別売上高の推移(広告事業)



(単位:百万円)

		2Q	構成比	前期2Q	構成比	前年同期比
売上高合計	折込広告	5,117	67.8%	6,883	71.8%	74.3%
	販促物	1,520	20.1%	1,647	17.2%	92.3%
	媒体	346	4.6%	474	4.9%	72.9%
	その他	564	7.5%	576	6.0%	98.0%
		7,548	100.0%	9,582	100.0%	78.8%



◆ 広告自粛の影響もあり、折込
 広告は前年同期比で25.7%、
 媒体は27.1%減少しております。

顧客の状況(広告事業)

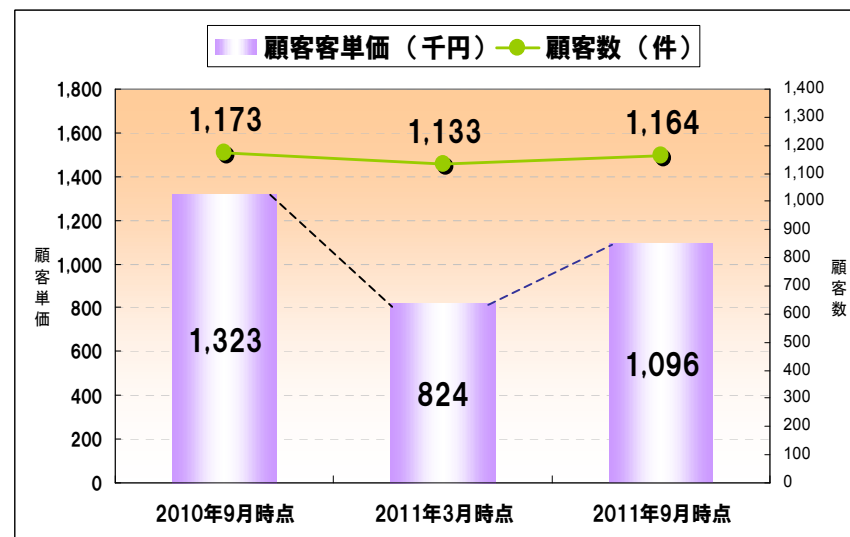
顧客単価&顧客数推移

◆震災のあった2011年3月時点からは、顧客単価、顧客数共に回復基調となりましたが、イベント規制等もあり、前年同月比では減少しております。

稼働顧客	2010年9月時点	2011年3月時点	2011年9月時点
顧客数(件)※1	1,173	1,133	1,164
顧客客単価(千円)※2	1,323	824	1,096

※1 月額取引50千円以上の取引先を顧客としています。

※2 数値は単月実績となります。

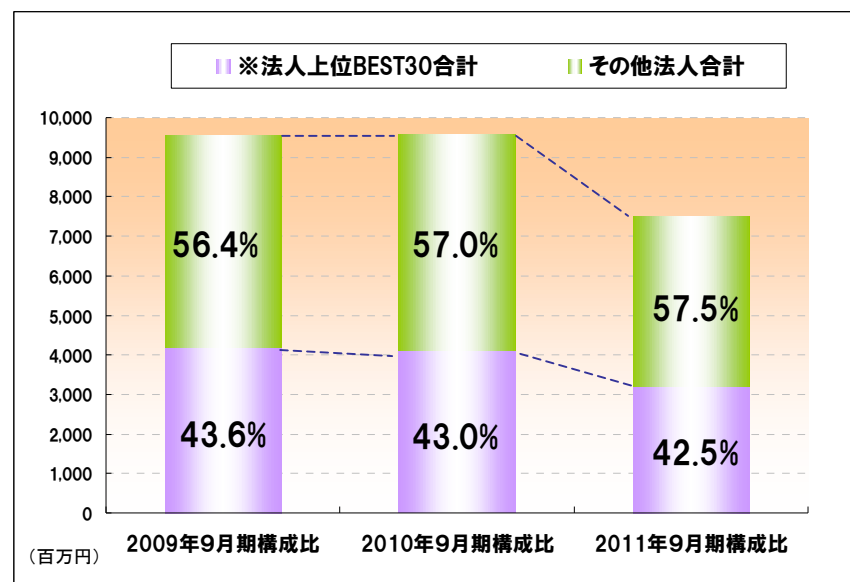


顧客構成推移

◆引き続き大手を中心とした構成となっており、上位30社で4割以上の構成比となっております。

	2009年9月期構成比	2010年9月期構成比	2011年9月期構成比
※法人上位BEST30合計	43.6%	43.0%	42.5%
その他法人合計	56.4%	57.0%	57.5%
総売上高	100.0%	100.0%	100.0%

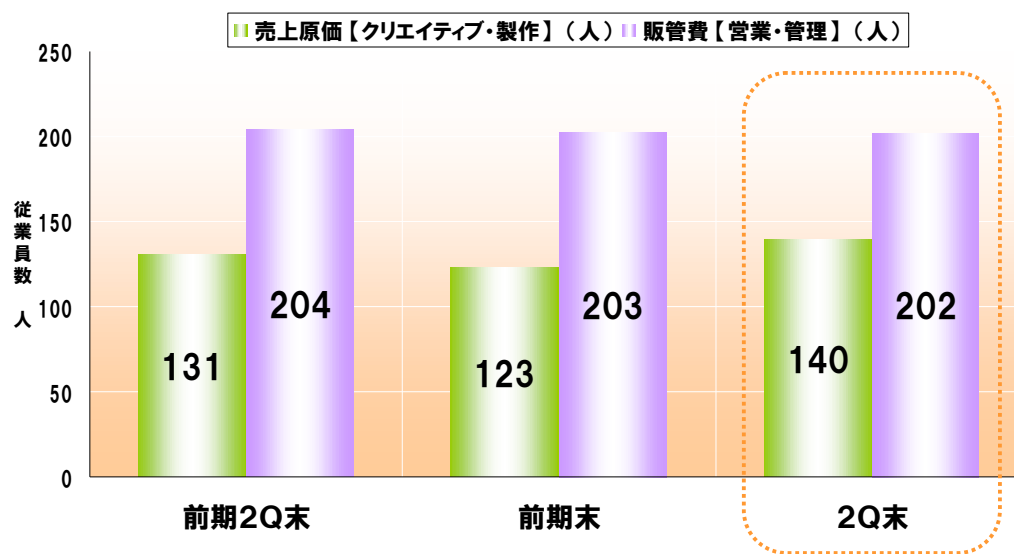
※当社売上高の上位30社となっております。



従業員の状況(広告事業)



	前期2Q末	前期末	2Q末
売上原価【クリエイティブ・製作】(人)	131	123	140
販管費【営業・管理】(人)	204	203	202
広告事業計(人)	335	326	342



◆ 今期より連結の範囲に含めた、(株)ジュリアジャパンの従業員(14名)も含め、前期末に比べ16名増加しております。

中古遊技機売買仲介事業

株式会社バリュー・クエスト

第2四半期 損益計算書(中古遊技機売買仲介事業)



(単位:百万円)

中古遊技機売買仲介事業	2Q累計期間	前年2Q累計期間	前年同期比
売上高	215	337	63.8%
営業費用	245	481	50.9%
(うちのれん償却)	—	(70)	—
セグメント利益又は損失(▲)	▲30	▲144	—

- ◆中古遊技機流通市場は、震災の影響で遊技機の新台販売延期や遊技機の入替自粛が行われたため、極めて低調に推移しました。
- ◆中古遊技機売買仲介事業における施策
 - ①会員制情報サービス「VQnet」における付加価値を高める施策として、「VQnet」と連動した在庫管理システム「VQ在庫」の利便性向上に向けた機能改善
 - ②厳しい環境下においても利益が確保できる収益構造の確立に向けた継続的なコスト削減を実施
- ◆しかしながら、中古遊技機売買の大幅な減少の影響を吸収しきれず、当第2四半期の成約台数は23千台(前年同期比▲42.4%減)、売上高は215百万円(同▲36.1%減)、となったものの、固定費削減によりセグメント利益は▲30百万円の損失(前年同期は▲144百万円の損失)となりました。

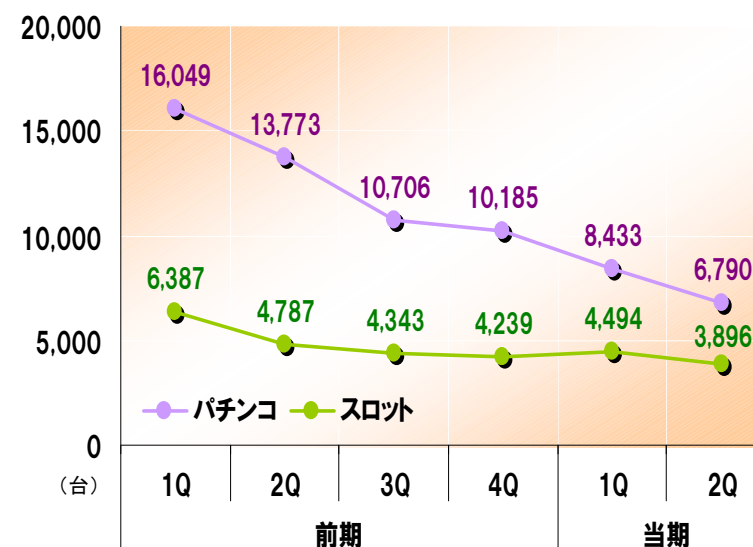
第2四半期 取扱台数・手数料単価の推移(中古遊技機売買仲介事業)



(単位:台)

取扱台数	前期				当期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
パチンコ	16,049	13,773	10,706	10,185	8,433	6,790
スロット	6,387	4,787	4,343	4,239	4,494	3,896
合計	22,436	18,560	15,049	14,424	12,927	10,686

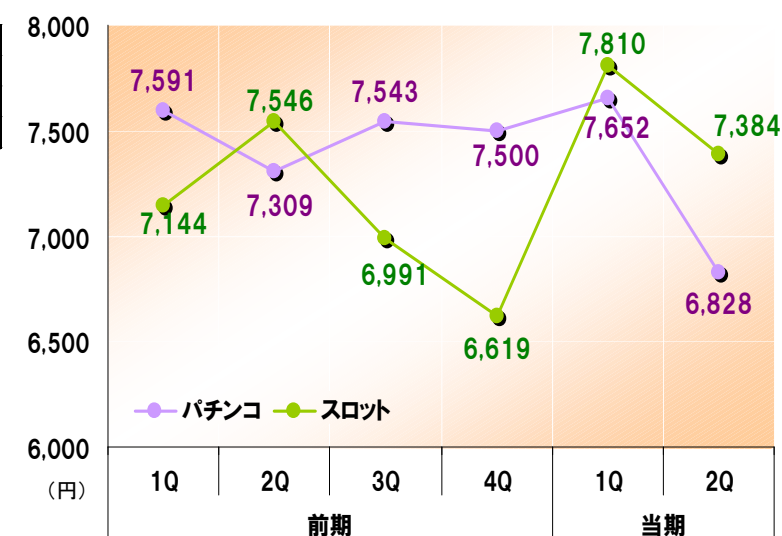
◆**取扱台数**: 震災の影響による、新台販売延期等もあり、中古遊技機市場は極めて低調に推移しました。



(単位:円)

手数料単価	前期				当期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
パチンコ	7,591	7,309	7,543	7,500	7,652	6,828
スロット	7,144	7,546	6,991	6,619	7,810	7,384

◆**手数料単価**: パチンコ、スロット共に話題機種、人気機種不在により前年同期比では下落しております。



不動産事業

株式会社ランドサポート

第2四半期 損益計算書(不動産事業)



(単位:百万円)

不動産事業	2Q累計期間	前年2Q累計期間	前年同期比
売上高	89	82	109.5%
営業費用	51	44	115.9%
セグメント利益	38	38	99.9%

- ◆当第2四半期においては、既契約で継続中の2件の賃貸案件のほか、2件の賃貸物件仲介案件(16百万円)を成約いたしました。その結果、売上高は89百万円(前年同期比9.5%増)となり、セグメント利益は38百万円(同▲0.1%減)となりました。

第2四半期 連結貸借対照表



(単位: 百万円)

		前期末 (A)	2Q末 (B)	差額 (B)-(A)		
資産合計	現金及び預金	3,489	2,888	▲600	①	
	受取手形・売掛金	1,702	1,966	264		
	その他流動資産	504	733	229		
	有形固定資産	935	915	▲20		
	無形固定資産	237	214	▲23		
	投資その他資産	1,048	980	▲68		
		7,917	7,699	▲218		
負債・純資産合計	支払手形・買掛金	900	1,142	242	②	
	短期借入金	928	728	▲200		
	未払法人税等	202	121	▲81		
	中古遊技機売買取引仲介顧客預り金	221	215	▲6		
	その他流動負債	211	190	▲21		
	長期借入金	513	399	▲114		
	その他固定負債	42	42	0		
	株主資本	4,545	4,767	222		④
	その他	4	4	0		
	少数株主持分	346	85	▲260		
	7,917	7,699	▲218			

①借入金の返済、納税、配当等により現金及び預金の減少(▲600百万円)

②短期借入金の減少(▲200百万円)

③未払法人税等の減少(▲81百万円)

④純資産合計は4,857百万円となり、前期末比▲38百万円の減少

～主な要因～

1) 四半期純利益491百万円

2) 期末配当▲260百万円

3) 主としてVQ社における剰余金の処分に伴う、少数株主持分の減少
▲251百万円

第2四半期 連結キャッシュフロー計算書



(単位:百万円)

	2Q	
税引前利益	663	
のれん償却額	-	
減価償却費	82	
売上債権の増減額	▲237	
棚卸資産の増減額	▲0	
仕入債務の増減額	242	
中古遊技機売買仲介顧客預り金の増減額	▲5	
その他	7	
小計	751	
法人税等の支出額	▲202	・・・①
その他	▲2	
営業活動によるキャッシュ・フロー	547	
有形・無形固定資産の取得による支出額	▲53	
その他	8	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲46	
借入金の増減額	▲314	} ・・・②
配当金の支出額	▲260	
少数株主への配当金の支出額	▲251	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲826	
現金及び現金同等物の増減額	▲325	
現金及び現金同等物の期首残高	3,506	
現金及び現金同等物の期末残高	3,182	

- ①前期決算に係る法人税等の確定納付が▲202百万円
- ②短期借入金の返済▲200百万円、期末配当金の支払が▲260百万円、及び少数株主への配当金の支払▲251百万円

2012年3月期 通期連結業績予想と進捗状況について

(単位: 百万円)

	2012年3月期 2Q実績	2012年3月期 2Q累計予想	達成率	2012年3月期 通期予想 ※	進捗率
売上高	7,854	7,530	104.3%	16,230	48.4%
営業利益	663	538	123.2%	1,307	50.7%
経常利益	666	530	125.7%	1,300	51.2%
当期純利益	491	390	125.9%	840	58.5%

※2011年7月15日修正発表

- ◆当第2四半期連結累計期間における連結業績は計画を上回って推移いたしました。なお、当期の業績予想については主力の広告事業において、震災発生後の広告自粛及び電力問題その他間接的要因による当社顧客の広告需要が、年間約▲3,000百万円減少することを前提に算定しております。
- 当下半期においては、広告自粛、電力問題の広告需要への影響は、従来予想と比較し軽微と見込まれることから、見込差(約+1,200百万円)の発生が予想されます。一方で、従来予想策定時点でその影響が未確定だった、本年8月以降のイベント広告宣伝規制の強化に伴い、当下半期においては約▲1,500百万円の広告需要が減少する可能性を見込んでおります。
- 結果として、当第2四半期連結累計期間における連結業績の従来予想超過分と、下半期における広告自粛および電力問題による広告需要への影響の見込差(約+1,500百万円)は、イベント広告宣伝規制による需要減少要因(約▲1,500百万円)と概ね相殺されることが見込まれます。以上により、従来予想数値の修正は行いません。

【参考】通期業績予想(売上高)の前提条件の変化

従来発表予想(2011年7月15日修正発表)	16,230 百万円
①当上半期における実績の対従来予想比超過額	約+300 百万円
②当下半期における広告自粛、電力問題の広告需要への影響と従来予想との見込差	約+1,200 百万円
③当下半期におけるイベント広告宣伝規制の強化に伴う広告需要減少の見込み	約▲1,500 百万円
①~③の合計	- 百万円
本日時点における予想(従来予想の修正なし)	16,230 百万円

- ◆ 2011年6月22日付けで警察庁より示された「広告・宣伝規制の運用方針の見直し」を受け、8月以降、各都道府県において相次いで広告宣伝規制の強化が図られ、これまで多くの地域、ホールによって行われていた、いわゆる「出玉イベント」の実施、宣伝告知ができなくなりました。

広告宣伝の種類	規制以前	規制後
新台入替告知	○	○
グランドオープン リニューアルオープン	○	○
出玉イベント	△	×
その他（ブランディング提案等）	△	△

出玉イベントの宣伝告知ができなくなることによる広告需要の減少が想定されます。

一方で、パチンコホールのブランディング広告や、射幸性を煽る恐れのないイベント広告など、**規制後**において新たな主流になるであろう**広告戦略を提案**して参ります。

(○:可能、△:内容、地域によって、×:不可)

(注)資料に記載の内容は説明の便宜上、規制の全体像を簡略化して示したものであります。本規制の詳細は都道府県単位や、それ以下の単位で様々であることから、本表とは異なる取扱いとなる部分があります

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 経営企画部 Tel.03-5358-3334